

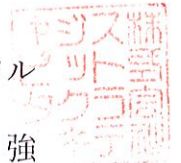
2019年3月22日

東レ株式会社

代表取締役社長 日覺 昭廣 様

株式会社ストラテジックキャピタル

代表取締役 丸木 強



貴社の上場子会社である蝶理のガバナンスについて

弊社は、投資一任契約を締結している運用資産で貴社の子会社である蝶理株式会社（以下「蝶理」といいます。）の発行済株式総数の約2.5%を保有しております。先月、弊社は蝶理を通じて貴社との面談をお願いしましたが、残念なことに拒否されました。

さて、今月3月7日に総理大臣官邸で開催された未来投資会議では、上場子会社のガバナンスの在り方について議論されました。そこで、安倍総理大臣から「上場子会社のガバナンスの強化に向けた対応に関して、①新たな指針を早急に策定し、親会社に説明責任を求めるとともに、子会社側には、支配株主から独立性がある社外取締役の比率を高めるといった対応を促す。②東証の基準等についても対応を検討する。」とのご発言があったとのこと。この会議の資料については、官邸のHP(\*)を、安倍総理大臣のご発言については経産省HP(\*\*)をご参照いただきたいと思います。

また、未来投資会議の資料3の8頁には、「上場子会社の株主として親会社に対話を求めても、子会社は独立しているので子会社と話してくれと断られる。結果として、上場子会社は経営者天国となっており、株価が割安で放置されていたりする。」と記載

されており、正に貴社と蝶理の関係が記されています。さらに資料4によると、上場子会社のガバナンス改善は、本年夏の成長戦略に入るとのことです。貴社におかれましても、弊社がかねてより貴社及び蝶理にお願いしている次の点などについて、親会社・大株主として早急にご対応いただきたいと存じます。

- 蝶理の大株主同士としての、貴社と弊社との対話
- 大株主として、蝶理経営陣に以下の事項について改善を強く申し入れ
  - ✓ 自己資本を積み上げる資本政策を止め、大幅増配や自社株買いを実行
  - ✓ 資本効率性を高めるため、政策保有株式の売却
  - ✓ 任意の指名・報酬委員会の設置、蝶理の社長及び社外取締役の投資家との面談の実施等、コーポレートガバナンスの改善

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上

追伸：同じ内容の手紙を村上副社長、深澤専務及び貴社社外取締役に送付しております。

\*官邸 HP (未来投資会議 (第24回) 資料3 及び資料4)

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/miraitoshikaigi/dai24/siryou3.pdf>

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/miraitoshikaigi/dai24/siryou4.pdf>

\*\*経産省 HP (第15回コーポレート・ガバナンス・システム研究会 参考資料1の13頁)

[https://www.meti.go.jp/shingikai/economy/cgs\\_kenkyukai/pdf/2\\_015\\_s01\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/economy/cgs_kenkyukai/pdf/2_015_s01_00.pdf)